

昭和45年3月1日
編集人兼発行所
秋田県能代市追分町4番26号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 大勝堂印刷所

キムラヤ
はたまち 2-553

この頃である。第二十二期生の
のを見付けたりするような今
の野暮か。ふと道はたに生えて
た。七名のうち、今日出席できる
のを見付けたりするような今
の野暮か。ふと道はたに生えて
た。七名のうち、今日出席できる

君がそこへ到着できるのを待
いるのだ。さあがんばってノ

◎ 奮 闘 賞

A組
吉田行男

は百七〇名程度であり淋しい卒業式となったが、入試のためでは

B組
鎌田定治

今、式に出席する人たちの胸の

市川和春

まざまのことが、走馬燈のように

松山弘光 檜森義春

米山栄八郎

伊藤勝治
大塚行男

三年間を決して時間の浪費だ
金谷 英俊
佐藤 孝男

三田
浦中
良寿
一弘

相原文人

大金子 幸藏 一男

小五 仁

卒業式式廊
修 礼

開式の辭
君が代

卒業証書授与
賞状授与
一 式 辛

使会室は、近より難い所とも思わ
れているのである。これから役員

このことをよく認識していなければ、
新役員は特に

仰げば尊し
螢の光

校歌
閉式の辞
一

— 修 礼

[illegible][illegible]

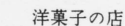
者が多すぎる」といふ。付随とかく歓迎されなかった卒業式につきまもの祝辞が今回の卒業式ではほとんど姿を消してしまつてゐた。これは、秋田県教育委員会が最近になつてこの文に加してはならない、卒業式がイコツキなどの生徒の意識を高め、対策の一環として、まず県教委の祝辞を廃止することにしたのである。さらにこれに県会議長、市長などが同調し今年からこれからの祝辞

院内の神に福寿が、ボツカリ芽を出してはいやう。そここのでたはつきりどうが、能代、男鹿、由利の海岸にハマボウフウが首をもちあげていよう。果立つときの、無限の希望。眩い危惧と、そんなみなさんの心境を思いつつ、門出を祝福し、

昭和四十五年三月一日

つていかもしれない。幸へには
あるフツトウはもう嘗ての思
づき始めている。▼きよ
は卒業式、あるいは卒業生は多
くは出席する。そして、一部の
人は試験場でこの日を迎えるで
はないだろうか。▼卒業式、習
いポイコトが否応なしに思ひ
れる。教育委員は、このよう
な事態を配して、とかく形式
的だと批判されている。祝辞を
中止することにした。興喪の
心配でも、もつとも先日も
岡田田中両校生によるアが
あつたばかりだ。このよ
うなことを、不度高校生は増
加の傾向にあるところ。▼と
して、我が校の場はどうか。政治
的討論は聞かれないが、い
う受難一本りの教育不満もあ
りしている。耳に聞こえるこ
と、しかしそれはあくでもほ
うなことをして、人々もま
うに他愛ない話に任せて。卒
業式、ポイコトなど到底でき
ない。そんな企ては耳にそ
こがない。始末だけを見れば
その内容は走を閉鎖しなけ
ば、いかにもしれない。

{ パースディーケーキ・マドレーヌ
レモンパイ・リーフパイ
クッキー・バームクーヘン
長崎カステラ }



ルニエール

能代市駅前北高通り TEL (2) 4648

ソフトクリーム・フルーツパフェ
ホットケーキ・コーヒー・紅茶・生ジュース
カレーライス・スパゲッティ・ランチ
スイートパーラ・和菓子



ルニエール

能代市駅前北高通り TEL (2) 4648